東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

Press Release

令和元年 10 月 29 日

報道機関　各位

東北大学大学院環境科学研究科

サイエンスアゴラ in 仙台 2019
＆ 東北大学 SDGs シンポジウム　開催
～東北から「持続可能で心豊かな社会」を創造する～をテーマに

【発表のポイント】

東北大学は「東北から『持続可能で心豊かな社会』を創造する」をテーマに、11/5（火）、11/6（水）の 2 日間、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）と共催し、「サイエンスアゴラ in 仙台 2019 ＆ 東北大学 SDGs シンポジウム」を開催します。「サイエンスアゴラ」とは、JST が主催する科学と社会をつなぐ日本最大級のオープンフォーラムで、東北での地方開催は初となります。「科学と社会の対話」をコンセプトに、SDGs 達成に寄与する新たなエネルギー価値観やプラスチックスマートについて考え、「持続可能で心豊かな社会」のあり方を東北の地から発信します。

貴紙、貴局番組を通じて広く市民の皆様に開催を周知頂ければ幸いです。東北初の開催となりますので、ぜひ当日は会場へお運びの上、取材頂ければと存じます。取材をご希望の場合は、11 月 1 日までに担当齋藤宛にご連絡をお願い申し上げます。

【概要】

現代社会の抱える諸問題を解決し、人類が融和的に共存できる心豊かな未来を創造するため、東北大学は全学的な取組みとして「社会にインパクトある研究」を推進しています。本シンポジウムは「科学と社会の対話」をコンセプトに、「エネルギーの新たな価値観」や「プラスチックスマート」のあり方を研究者のみならず、行政・事業者・市民・学生等様々な立場の方々とともに考え、未来像を共有する 2 日間としたいと考えます。

【問い合わせ先】
東北大学大学院環境科学研究科
担当　環境研究推進センター
　　特任助教　齋藤優子
　　特任助教　大庭雅寛
電話　022-795-4851
E-mail　erpc@grp.tohoku.ac.jp

【詳細な説明】

開催日：令和元年 11 月 5 日（火）~6 日（水）
場　所：東北大学片平さくらホール(11/5)・仙台国際センター　大ホール・桜1(11/6)
主　催：東北大学　共催：国立研究開発法人科学技術振興機構

11 月 5 日（火）13:00～
【セッション1】（会場：東北大学片平さくらホール）
「新たなエネルギー価値観が拓く持続可能社会」
基調講演：「エネルギー関連技術への期待：環境行政の経験から」
東京大学大学院総合文化研究科　広域システム科学系・客員教授/
東京大学先端科学技術研究センター　社会連携部門・シニアプログラムアドバイザー
小林　光　氏

東北大学の取組：東北大学エネルギー価値学創生研究推進拠点

11 月 6 日（水）9:30～
【セッション2】（会場：仙台国際センター　大ホール）
「新たなエネルギー価値観創造に向けた科学と社会の対話」
基調講演　「2050年のエネルギー産業：日本のエネルギーの大転換」
NPO 法人　国際環境経済研究所　理事・主席研究員　竹内　純子　氏

11 月 6 日（水）15:00～
【セッション3】（会場：仙台国際センター　桜1）
JST・東北大学共催：JST 地域産学官社会連携分科会　ワークショップ
プラスチックスマート：プラスチック問題から見る SDGs
東北大学　プラスチックスマート戦略のための超域学際研究拠点キックオフ

11 月 6 日（水）同時開催：
東北大学「社会にインパクトある研究」ポスターセッション
～東北大学 SDGs チャレンジ～　（会場：仙台国際センター　桜1）

参加申込：東北大学大学院環境科学研究科
http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/news/event/e20191105-6.html

申込フォームは以下の通り。

参加費：無料、懇親会（学生無料：学生以外 2,000 円）
定員：11/5 先着 100 名、11/6 先着 800 名

主催：東北大学　共催：国立研究開発法人科学技術振興機構

サイエンスアゴラ in 仙台 2019 & 東北大学 SDGs シンポジウム

東北から「持続可能で心豊かな社会」を創造する

現代社会の抱える諸問題を解決し、人類が融和的に共存できる心豊かな未来を創造するため、本学は全学的な取組みとして「社会にインパクトある研究」を推進しています。本シンポジウムは「科学と社会の対話」をコンセプトに、「エネルギーの新たな価値観」や「プラスチックスマート」のあり方を研究者のみならず、行政・事業者・市民・学生等様々な立場の方々とともに考え、未来像を共有する2日間としたいと考えます。

※「サイエンスアゴラ」とは・・・
サイエンスアゴラは、科学技術振興機構（JST）が主催する科学と社会をつなぐ日本最大級のオープンフォーラムです。あらゆる人々が対話・協働し、それを政策形成や知識創造へ結びつける共創のプラットフォーム構築を推進しています。2017年度より、ビジョンやテーマを共有する機関とともに共創活動の振興を図る連携企画を実施しています。
http://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/

セッション1 ｜ 11月5日(火) 13:00　新たなエネルギー価値観が拓く持続可能社会

基調講演「エネルギー関連技術への期待：環境行政の経験から」
13:05—14:00

東京大学大学院総合文化研究科 広域システム科学系 客員教授／
東京大学先端科学技術研究センター 社会連携部門 シニアプログラムアドバイザー　小林　光 氏

セッション2 ｜ 11月6日(水)　9:30　新たなエネルギー価値観創造に向けた科学と社会の対話

主催者挨拶
東北大学 理事・副学長（社会連携・震災復興推進担当）　原　信義

共催者挨拶
国立研究開発法人科学技術振興機構 理事　佐伯 浩治

基調講演「2050年のエネルギー産業：日本のエネルギーの大転換」
9:40—10:35

NPO法人国際環境経済研究所 理事・主席研究員　竹内 純子 氏

科学と社会の対話

11月6日 同時開催　東北大学「社会にインパクトある研究」ポスターセッション ～東北大 SDGs チャレンジ～（会場：桜1）

❶国や自治体の取組

文部科学省 10:45—11:00	研究開発局 環境エネルギー課長 横地　洋 氏	
経済産業省 11:00—11:15	資源エネルギー政策統括調整官 覚道 崇文 氏	
環境省 11:15—11:30	地球環境局地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業企画官 加藤　聖 氏	
宮城県 11:30—11:40	副知事 遠藤 信哉 氏	
富谷市 11:40—11:50	市長 若生 裕俊 氏	
東松島市 11:50—12:00	副市長 小山　修 氏	
仙台市 13:00—13:15	まちづくり政策局 防災環境都市・震災復興室 エネルギー政策担当課長 中道 由児 氏	
仙北市 13:15—13:30	総務部 地方創生・総合戦略統括監 小田野 直光 氏	
志摩市 13:30—13:45	産業振興部水産課 水産振興係長 山川 貴重 氏	
産総研 13:45—14:00	福島再生可能エネルギー研究所 所長 中岩　勝 氏	
大成建設株式会社 14:00—14:15	設計本部設備計画部 部長 豊原 範之 氏	

❷国研・産業界の取組

セッション3 ｜ 11月6日(水) 15:00　JST・東北大学共催：JST地域産学官社会連携分科会ワークショップ

プラスチックスマート：プラスチック問題から見るSDGs
東北大学 プラスチックスマート戦略のための超域学際研究拠点キックオフ

開催日　令和元年 11月5日(火)
会　場　東北大学 片平さくらホール
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1
（地下鉄東西線青葉通一番町駅より徒歩約10分）

開催日　令和元年 11月6日(水)
会　場　仙台国際センター 大ホール／桜1
〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山
（地下鉄東西線国際センター駅より徒歩約1分）

参加費：無料　懇親会：2,000円
定　員：800名
登録締切：令和元年10月31日（木）
※定員になり次第締め切ります。

登録方法：下記QRコードもしくは裏面FAX番号へお申し込みください。

参加申込
東北大学大学院環境科学研究科　環境研究推進センター
http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/news/event/e20191105-6.html　E-mail：erpc@grp.tohoku.ac.jp

東北大学社会にインパクトある研究　http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/
東北大学エネルギー価値学創生研究推進拠点　http://www.ifs.tohoku.ac.jp/jpn/ene-kachi/
東北大学プラスチックスマート戦略のための超域学際研究拠点

WEB登録はこちらから

プログラム

11/5(火) 司会：齋藤優子 (環境科学研究科 特任助教)　会場：片平さくらホール

セッション1

新たなエネルギー価値観が拓く持続可能社会

13:00 **開会挨拶** 材料科学高等研究所(AIMR) 所長 教授 折茂 慎一
セッション1の狙い 環境科学研究科 研究科長 教授 土屋 範芳

13:05 **基調講演**
「エネルギー関連技術への期待：環境行政の経験から」
東京大学大学院総合文化研究科 広域システム科学系 客員教授／
東京大学先端科学技術研究センター 社会連携部門 シニアプログラムアドバイザー 小林 光 氏

14:00 **東北大学の取組**
1.「エネルギー創成・変換・貯蔵のための先端エネルギー材料 ー指定国立大学・材料科学研究拠点との連携ー」
材料科学高等研究所(AIMR) 所長 教授 折茂 慎一
2.「地殻機能を利用した水素エネルギーの創成 ー地球環境とエネルギー問題の同時解決ー」
環境科学研究科 教授 駒井 武
3.「グラフ理論を用いた相互補償型水素エネルギーサプライチェーンの新展開」
流体科学研究所 教授 石本 淳
4.「東北地域バイオマス資源を活用したエネルギーイノベーション」
多元物質科学研究所 教授 本間 格
5.「再エネを利用した水素エネルギーシステム ー災害・停電時にも使える自立分散型電源ー」
金属材料研究所 特任教授 河野 龍興
6.「日本の地熱エネルギー：現況と将来」
環境科学研究科 研究科長 教授 土屋 範芳
7.「社会にとって最適なエネルギー選択と環境政策の役割」
経済学研究科 教授 日引 聡

16:00 **研究推進ディスカッション**
「ますます重要となる地域と連携した取組」
座長：環境科学研究科 研究科長 教授 土屋 範芳

ゲストトーク
1.「東北大学との連携による水素エネルギー活用に係る取組」
仙北市総務部地方創生・総合戦略統括監 小田野直光 氏
2.「とみや低炭素水素プロジェクトについて」
富谷市企画部企画政策課 課長 松原 誠 氏
3."Hydrogen Energy Applications Development in Taiwan"
Department of Mechanical Engineering, National Chiao Tung University
prof. Jong-Shinn Wu

16:50 **総括** 環境科学研究科 研究科長 教授 土屋 範芳

11/6(水) 司会：金野徳子氏　会場：仙台国際センター 大ホール／桜 1

セッション2

新たなエネルギー価値観創造に向けた科学と社会の対話

9:30 **主催者挨拶** 東北大学 理事・副学長(社会連携・震災復興推進担当) 原 信義
9:35 **共催者挨拶** 国立研究開発法人科学技術振興機構 理事 佐伯 浩治
9:40 **基調講演**
「2050年のエネルギー産業：日本のエネルギーの大転換」
NPO法人国際環境経済研究所 理事・主席研究員 竹内 純子 氏

10:35 **「新たなエネルギー価値観創造」に向けた東北大学の取組**
環境科学研究科 研究科長 教授 土屋 範芳

1. 国や自治体の取組

10:45 ①「イノベーションを通じた価値創造と大学への期待」
文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課長 横地 洋 氏
11:00 ②「2050年を見据えた今後のエネルギー政策について」
経済産業省 資源エネルギー政策統括調整官 覚道 崇文 氏
11:15 ③「地域ニーズに立脚した課題解決を目指す地域SDGsと気候変動対策の同時達成」
環境省 地球環境局地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業企画官 加藤 聖 氏
11:30 ④「宮城県における水素エネルギー利活用推進の取組について」
宮城県 副知事 遠藤 信哉 氏
11:40 ⑤「とみやからはじまる未来のくらし」 富谷市 市長 若生 裕俊 氏
11:50 ⑥「SDGs未来都市　東松島市の取り組み」 東松島市 副市長 小山 修 氏
12:00 昼食
13:00 ⑦「仙台市のエネルギー自律型まちづくりの取り組み」
仙台市 まちづくり政策局防災環境都市・震災復興室エネルギー政策担当課長 中道 由児 氏
13:15 ⑧「仙北市におけるSDGs推進に係る取組み ー水素エネルギーの地産地活を目指してー」
仙北市 総務部 地方創生・総合戦略統括監 小田野直光 氏
13:30 ⑨「SDGs未来都市　志摩市の取り組み」
志摩市 産業振興部水産課 水産振興係長 山川 貴重 氏

2.国研・産業界の取組

13:45 ①「再エネ水素をどう生かす？ ー福島からのアプローチー」
国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 所長 中岩 勝 氏
14:00 ②「サステナブル建築の実現に向けたSDGsとZEBの取り組み」
大成建設株式会社 設計本部設備計画部 部長 豊原 範之 氏

14:15 **パネルディスカッション**
「新たなエネルギー価値観の創造へ」
モデレーター：環境科学研究科 研究科長 教授 土屋 範芳

14:45 **総括** 環境科学研究科 研究科長 教授 土屋 範芳

セッション3

JST・東北大学共催：JST地域産学官社会連携分科会 ワークショップ

15:00 **プラスチックスマート：プラスチック問題から見るSDGs**
東北大学　プラスチックスマート戦略のための超域学際研究拠点キックオフ

15:10 **東北大学の取組(拠点の説明)** 環境科学研究科 教授 松八重一代

15:20 **研究の最前線**
「動脈産業と静脈産業をつなぐプラスチックリサイクル」
環境科学研究科 教授 吉岡 敏明

15:40 **研究の最前線**
「廃プラ問題と国際資源循環：
持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて」
国際文化研究科 教授 劉 庭秀

16:00 **「プロスポーツにおけるプラスチックスマート」**
公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 山形 裕昭 氏

16:10 **「若者からみたプラスチックスマートと、若者たちによる実践」**
環境系学生サークル海辺のたからもの 代表　東北大学3年 畠山 紳悟

16:20 **「沖永良部島における海洋漂着物の対応」**
鹿児島県沖永良部島(和泊町・知名町) 和泊町役場企画課 課長 皆吉 泰智 氏
知名町役場企画振興課 課長 髙風勝一郎 氏

16:30 **「消費文明の終着点キリバス・SIDSから」**(ビデオメッセージ)
一般社団法人日本キリバス協会 代表理事　ケンタロ・オノ 氏

16:40 **質疑応答**

17:00 **総合討論　パネルディスカッション**
「社会課題の解決に向けた自治体、大学、企業の役割を考える」
ファシリテーター：JST　登壇者：
環境科学研究科 教授 松八重一代
環境科学研究科 教授 吉岡 敏明
国際文化研究科 教授 劉 庭秀
宮城大学 副学長・事業構想学群長 教授 風見 正三 氏
アイ・コンポロジー㈱ 取締役 小出 秀樹 氏
和泊町役場企画課 課長 皆吉 泰智 氏
知名町役場企画振興課 課長 髙風勝一郎 氏

18:00 **閉会挨拶** 国立研究開発法人科学技術振興機構「科学と社会」推進部 部長 荒川 敦史

※終了後、懇親会(会場：桜1)を行います。

お申込み

参加希望の方は、下記 URL または FAX にてお申し込みください。
URL：http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/news/event/e20191105-6.html
FAX：022-752-2236(下記にご記入の上、送信下さい。)

FAX参加申込書

フリガナ 氏名	
ご所属・役職	
E-mail	

※ご記入いただいた個人情報は、当シンポジウムの管理の目的にのみ利用いたします。

参加希望 □に✓を入れてください

セッション1 (11/5)	
□参　加	□不参加
セッション2 (11/6)	
□参　加	□不参加
セッション3 (11/6)	
□参　加	□不参加
懇親会 (11/6) 参加費：2,000円 (学生無料)	
□参加(学生以外)	
□参加(学生)	□不参加